

奈良市環境基本計画市民ワークショップ 第1回分科会 次第

平成22年11月11日（木）午後7時から
奈良市役所 正庁

1 開会

2 分科会

- (1) 自己紹介・自己PR・分科会に対する思いなど
- (2) リーダー・サブリーダーの選出
- (3) 問題点の抽出及び分類

3 その他

- (1) 次回ワークショップの案内等
- (2) 地球温暖化対策地域実行計画の策定について

4 閉会

<配布物一覧>

- ・【資料1】第1回分科会プログラム
- ・【資料2】第2回全体会議グループワークの分野別まとめ（参考）
- ・【資料3】KJ法マニュアル
- ・奈良市の環境 平成21年版
- ・第1回分科会 ふりかえりシート

奈良市環境基本計画市民ワークショップ 第1回分科会 プログラム 平成22年11月11日(木) 19:00~

本日のメニューです。

あいさつ (5分) 19:00~19:05	はじめに 本日のワークショップの流れを説明します。 分科会を別室で行いたい場合は、この後移動していただきます。
自己紹介等 (30分程度) 19:05~19:35	自己紹介・自己PR・分科会に対する思い 各分科会に分かれて、自己紹介・自己PR・分科会に対する思いなどを1人3~5分程度で発言していただきます。
リーダー等の選出 (10分) 19:35~19:45	リーダー・サブリーダーの選出 各分科会において、リーダーとサブリーダーを選出していただきます。
問題点の抽出 及び分類 (60分程度) 19:45~20:45	問題点の抽出 その分野において、日頃感じている奈良市の環境の問題点をブレインストーミングで、できるだけ多く出してください。出た意見はすべてふせん書き、模造紙に貼り付けていきます。 各自が発表しながらふせんに記入するか、専任の記録係を決めて記入してもらうか、進め方は分科会ごとにやりやすい方法を決めてください。 本日は、問題点をできる限り洗い出す作業に重点をおき、出された問題点を似たもの同士で分類する作業までできれば行ってください。
その他 閉会のあいさつ (15分) 20:45~21:00	その他 ・ 次回の分科会の案内 ・ ふりかえりシート(11月18日(木)必着で提出してください) ・ 地球温暖化対策地域実行計画の策定について

ワークショップ 分科会の予定

	開催日時	会場	内容
第1回	11月11日(木) 19:00~21:00	正庁	~奈良市の環境について現状を見つめ直す~ ・各分科会において、その分野で考えられる問題点をブレインストーミングで出していただきます。 ・出された問題点を分類していただきます。
第2回	11月27日(土) 19:00~21:00	正庁	~奈良市の環境問題をまとめる~ ・第1回分科会で検討した問題点に、さらに追加する問題点があれば出していただきます。 ・KJ法で問題点をまとめて整理していただきます。 ・整理した問題点を踏まえて、市民・事業者アンケートの設問を検討していただきます。

※ブレインストーミングとは？

集団(小グループ)によるアイデア発想法の1つで、会議の参加メンバー各自が自由奔放にアイデアを出し合い、互いの発想の異質さを利用して、連想を行うことによって、さらに多数のアイデアを生み出そうという集団思考法・発想法のこと。

◆ブレインストーミングの4つのルール

- ①お互いの意見を批判しない
- ②質より量(あらゆるアイデアを出し合う。アイデアは多いほど良い。)
- ③自由に(恥ずかしいと思わずに自由に話す。奔放なアイデアを歓迎する。)
- ④改善・発展・結合(他人が話した内容に刺激を受けてアイデアを付け加える。)

	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4
自然・歴史	<p>自然環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ○里山保全・緑保全 ○ため池の保全（緑と水辺）（野生動植物の保護） ○森林の創生（第2の奈良公園を作る） ○開発（市街区域）（除 調整区域） ○水環境 <p>歴史・景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ○古都の景観保存 ○歴史的景観の保全（建築物の高度制限） ○都市環境 緑化 電柱の地下化 ○都市景観にうるおい 街路樹の整備 ○観光の活性化 ○平城宮跡の活用 <p>歴史都市防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安全安心のまちづくり 防災・防犯 ○世界遺産とそのバッファゾーン 都市防災の強化 	<p>歴史文化と自然を生かしたまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○森林資源 その役割と有効活用の事例紹介 ○庭木の樹種の限定 ○奈良市のパワースポット創り ○環境首都をつくろう。奈良市の特性を活かして ○歴史文化と環境の共生 ○環境学習（教育）平城宮跡の活用 ○世代を超えて住み続けられる街づくり ○奈良東山地区のグリーンを生かす⇒CO2排出取引に使えないか？（エコビジネス） ○音環境の保全 ○安全・快適・健康な社会環境（都市環境・生活環境） ○できるだけ小さい範囲で食・住・エネルギー・ゴミなどを供給できるシステム作り ○自転車道の整備 ○環境保全 河川公園の整備 木津川市にくらべている 	<p>自然</p> <ul style="list-style-type: none"> ○森林生態系保全・復元 ○遊休地などの効率的な利用 ○水辺環境保全・復元 ○生物多様性保全 ○生態系を考えて生物（植物等）守り育てる（生物多様性） ○子どもエコクラブ活性化 ○景観保全<歴史・自然> <p>歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> ○奈良市の大切な文化財を守る（らくがきしないとか…） ○古都の文化財を護る ○平城京のまちなみ保全・復元 ○歴史・文化財を守るための取組みとしての環境測定や分析（ケミカル） ○歴史環境 奈良の個性を護る体制づくり ○交通問題 文化財・世界遺産周辺への車乗り入れを検討 ○大気環境 文化財に影響 	<p>自然環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自然保護 ○地元産の食材 ○生物多様性 ○農地保全、農業の活性化 ○食料の地産地消を強化、白濁化。 ○地球環境保全 ○生物多様性に配慮したまちづくり ○子供達へ美しい環境を残す ○緑地保全、森林保全 ○県内木材の利用 ○自然環境保全（循環として）（アメニティー） <p>まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安全・安心 ○古都平城京の保存と活用 ○歴史環境保護 ○世界文化遺産 ○生活環境（都市と田舎との連携） ○歩いて暮らせるまち ○アメニティー（文化財保全ではなく）（歴史と文化と人と） ○世界との友好も大事だが、京都市、東京都と連携 <p>コンパクトシティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公共交通システム ○交通
都市環境	<p>交通対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○環境に優しい交通体系 ○高齢者の移動手段 ○交通 歩いて・自転車で安心・安全して歩ける走れるまち ○公共交通の充実 コミュニティバス マイカー規制 ○市街路 歩道・自転車道の改善 ○カーシェアリング・自転車シェアリング ○公用車の電気自動車の取り入れ ○自転車道・歩道の整備 ○奈良の自動車利用 ○公共交通のサービス向上 ○安全な交通の為の整備 	<p>生活環境の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○環境アセスメント（大規模店舗立地も含む） ○実現性のある提言 VISIONではない！ ○環境基準項目（大気・水・音） ○奈良市のCO₂削減目標を決め、具体策を促進しよう ○温暖化施策と経済問題 ○奈良市のどの分野のCO₂を削減できるのか 	<p>都市環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ○環境を核としたまちづくり ○自転車の乗れる街づくり・道づくり ○緑道などの整備 サイクリングロード <p>エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> ○再生可能なエネルギーBDFの推進 ○バイオマス事業の設立 ○バイオマス資源の活用 ○クリーンエネルギー使用（利用）の推進 ○交通（公共）のクリーン&エコ化 ○大型商業施設の駐車場における電気スタンドの普及促進 ○無駄な電気は消す。エネルギーの無駄をなくす。 ○市の保有する自動車を全て電気自動車にする ○3R バイオ燃料 天ぷら油の再利用。循環型社会の構築。 <p>生活環境・3R</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スーパーのレジ袋の有料化 ○不要品を人にあげる情報提供する リユース ○まずは家庭から ゴミ リサイクル ○買物は出来るだけ市内でする 地産地消 ○グリーン購入 ○市民が環境に配慮した商品を買いたくなるような…何か ○環境配慮型の商品がすぐわかるようにする ○無駄な包装はしない。ゴミをへらす。マイバッグを持つ。 ○米のとぎ汁などを流さない。庭の草にあげる。 ○健康に暮らせる環境 アレルギー・花粉症 ○都市環境 高齢者・独居対応 ○建物・住宅のエコ化 建物と設備 ○廃棄物処理 	<p>循環型社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ごみ ○野焼き ○「公害」→環境ホルモン ○クリーン奈良 ○3R推進 ○足元からの（日々の）エコロジー ○地域循環は、生ゴミからエネルギー回収 ○地域分散の循環型社会構築 ○雨水利用 ○河川浄化 ○生活環境（大気汚染・生活排水）
生活環境	<p>生活環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ○奈良のごみ（家庭） ○奈良のごみ（中小事業者） ○排出抑制 ○騒音対策 ○ゴミ・リサイクル・不法投棄対策 ○家庭のリサイクルごみ ○生活排水・工場排水 	<p>エネルギーの有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○エネルギーの効率化の促進 ○省エネで快適な（都市生活）住まい方 ○高効率な機器開発の促進と利用提案 ○燃料電池の開発商品化 ○再生可能なクリーンエネルギー ○エネルギーと環境との両論性 ○廃棄物の適正処理 ○資源の循環利用 ○市民だよりやパンフレットの数量の適正化 ○家庭ゴミの減量 	<p>地球温暖化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○低エネルギー社会 ○効率的なエネルギー社会 ○再生可能エネルギー ○自然エネルギー利用 ○エコ運転 ○環境家計簿の啓発 ○ハイブリッド車、EVの普及 ○家庭における身近で効果的な省CO₂対策 ○省エネ推進。省エネ・省CO₂のための取り組み ○民生業務用における省CO₂対策 ○地球環境は予想より急激に進んでいる。 2020 25%↓ 2030 40%↓ 2050 60~80%↓ ○温暖化の目標…1990年比で比較すべき（複雑すぎる 単純に） ○気候ターゲット2℃がいつか…（2015年）450 ppm必達 	
地球温暖化対策	<p>温暖化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○省エネ・自然エネルギー 取り組み強化 ○CO₂排出抑制策 ○地球温暖化 ○再生可能（自然）エネルギーの有効利用 ○地産地消の推進 			

	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4
環境教育	教育・啓蒙 <ul style="list-style-type: none"> ○小さいときから自然と学ぶ 環境教育 ○自治会etc地域での情宣展開 ○市 地域社会での生かし方 自治会の生かし方 ○小・中・（高）教育 ○子供達への地球温暖化を知らせる教育 ○奈良の自然 環境対策に対する地域の生かし方 ○参加と連携を図るまち 	環境教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○次世代への環境教育 ○環境教育 循環型社会をイメージさせる具体的な取り組みを学校教育の中で行う ○市民参加の町づくり ○産業と環境との相克関係 ○市民（特に中高生）に対する環境教育 	環境教育 <ul style="list-style-type: none"> ○環境学習 ○環境学習・指導者育成 ○小学生によるその校区の環境調査と、実施できる施策の立案 ○学校の授業で地球温暖化の事をもっと教える ○大事な地球を子供に残すのだから、学習・教育の充実 ○環境自然保護教育 ○食農教育の推進 	環境教育 <ul style="list-style-type: none"> ○環境教育のしくみづくり ○環境保全のため、人材育成 ○グリーンコンシューマー ○環境教育のIT化を急げ
その他	その他 <ul style="list-style-type: none"> ○NPOボランティアの支援・強化 ○トップランナー ○世界に発信できる奈良市としての意気込みがあるのか ○全体統合調整 		その他 <ul style="list-style-type: none"> ○奈良市民への広報の大切さ ○他の国や他の都市にない奈良独自の環境基本計画を ○政策（補助金とか）エコポイント等 ○環境に関する産業の育成 ○地域団体の環境への取り組み支援 ○市民運動・NPO活動の盛り上がり支援 	

K J 法マニュアル

～ 目次 ～

作業手順の概要	2
段階 1 . テーマに関するラベルづくり	3
段階 2 . ラベルの意味の確認	4
段階 3 . (1)小グループ化と表札づくり	5
(2)中グループ化	5
段階 4 . 図解	7

沖縄大学
吉川研究室

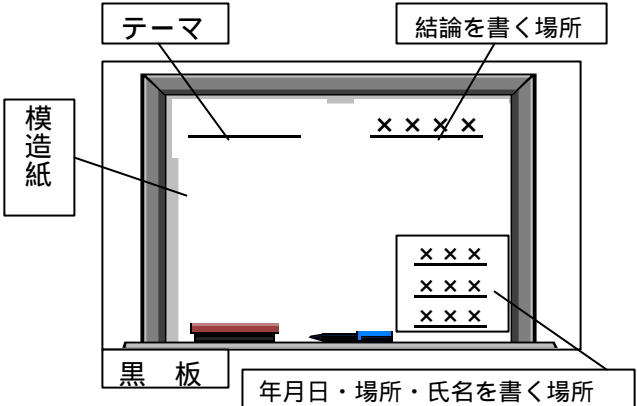
KJ 法 作業手順の概要

? する	内容	ポイント
段階 1 <input type="checkbox"/>	テーマに関するラベルづくり (情報の言語化)	事実に基づいて、具体的に記入する。 ・ 1枚のラベルに1つの情報を記入すること。 ・ 1人、4～5枚ほどつくる。
段階 2 <input type="checkbox"/>	ラベルの意味の確認 (情報の共有化)	記入したラベルをかるたのように広げ、グループ全員で1枚1枚の意味を確認する。
このステップが大切！徹底して話し合おう！十分時間をかける事！		
段階 3 (1) [小グループ] <input type="checkbox"/>	小グループ化と表札づくり (抽象化、第1段階)	内容が近いと感じられるラベルを寄せ集め、小グループをつくる。 ・ それぞれの小グループのカードを読み返し、その小グループ全体の意味を「表札」(以下、「小タイトル」と表記)として要約する。 ・ どのグループにも属さないラベルはそのままにしておく。
(2) [中グループ] <input type="checkbox"/>	中グループ化 (抽象化、第2段階)	小グループの表札を1枚のラベルとみなす。 ・ 表札と小グループ化できなかった1枚もの(一匹狼)のラベルを読み返し、再度意味の近いと思われるものを集め、中グループをつくる。 ・ 小グループと同様に表札(以下、「中タイトル」と表記)をつくる。
段階 4 <input type="checkbox"/>	図解 (構造化)	1枚の大きな紙に、中グループ、小グループの意味や関連性による位置関係がよく分かるようにラベルを配置していく。(先ず配置してみる。その後、ストーリーが完成してから貼り付ける。) ・ 各グループの表札やラベル(一匹狼)をよく読み、理解した上で、中グループから配置していく。 ・ 各グループやラベル(一匹狼)に、原因・結果の関係があるときは「 」, 相互に影響を及ぼし合っているときは「 」で結ぶ。 ・ ストーリーを完成させる。
段階 5 <input type="checkbox"/>	まとめ	全員で図解を見ながら、グループやラベルの重要度を考える。 重要度の高いグループやラベルにはマークをつけてわかりやすくし、テーマに対する結論をつくる。
レポート提出 <input type="checkbox"/>	レポート (文章化)	図解を見ながら、ストーリーを文章にする。(KJ法の作業手順を書くのではない。)

各ステップの作業を終えたらチェックボックス にチェック? をしてください。

**段階1．テーマに関するラベル(言語データ)づくり
(ステップ1 - ~)**

討論者(グループ全員)の頭の中に蓄積されている事実に基づく情報を、ラベルに書き出して目に見えるようにする。(情報の言語化)

ステップ	内 容	ポ イ ン ト
1 -	模造紙を広げ、討議するテーマを明記する。 (例) 「 の問題点は何か」	<ul style="list-style-type: none"> ・ リーダーが左上に黒のマジック(大)で大きくテーマを書く。(字の大きさは6~8cm) ・ テーマを書いた残る半分には結論を書く。 
1 -	テーマをめぐって5分間程度フリートーキングする。(発声練習=頭の回転のウォーミングアップ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>全員が順番に1人ずつ1分間以内</u>で意見を述べる。 ・ 声を出し合い順番に話を進め、問題意識の深い人だけにならないようにする。 ・ 何を討議するか事実で確かめ、相手の話のメモを取るのも良い。 ・ ウォーミングアップであって討論ではない事に注意する。
1 -	ラベルを1人、2~3枚づつ配る。	はじめは、ラベルの合計数を20枚位にするのがよいが慣れてきたら次第に枚数を増やす。
1 -	各人が自分の考えや意見をラベル1枚に1項目ずつ黒マジック(中)で書き、そのラベルを並べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ラベルは、文章を2~3にまとめて書く。(字が小さすぎないよう) ・ 書く内容は出来るだけ明確な文章にして表す。(全員同じ意味にとれるように) <p style="margin-left: 40px;">事実にもとづいて 5W1Hを重視して 抽象的な表現は避け、具体的に 推論と断定を排除して短文で書く</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(例) テーマ「当社における問題点は何か」に対して</p> <p>悪い例 目次的・・・「本支店間の相互不信感」 推論・・・「視点は在庫削減計画に協力的でない」 断定・・・「販売網の強化推進が出来ていない」</p> <p>良い例・・・先期の限界利益予算は300万円であったが実績は250万円であった。</p> </div>

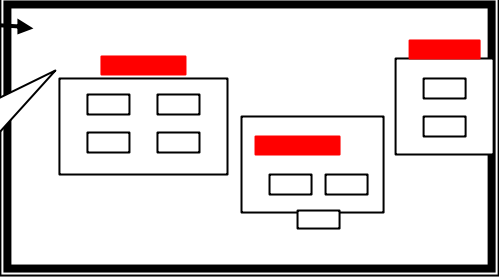
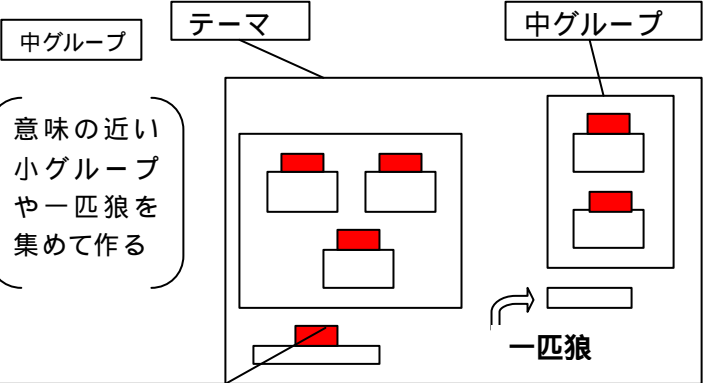
段階 2 . ラベルの意味の確認
(ステップ 2 - ~)

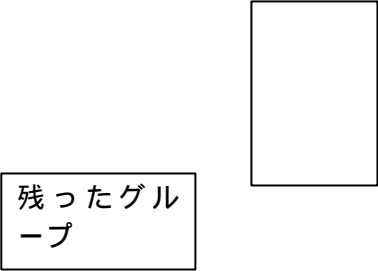
ラベルの意味が事実を表す表現となっているか、抽象的でないか、1枚1枚確認し、グループ全員が共通の認識を持つ。そして、共通の意味の物をグルーピングする。

ステップ	内 容	ポ イ ン ト
2 -	<p>リーダーが、各ラベルを1枚ずつ読みながら書いてある意味を、全員で確認する。</p> <p>リーダーが読む。 書いた本人が説明する。 説明内容がラベルに書いてある内容から読みとれるか、皆で確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center; margin: 20px auto; width: 80%;"> <p>このステップが大切！ 徹底して話し合おう！ 十分時間をかける事！</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> • 模造紙の中央に鉛筆で土俵を書き、1枚ずつその中に貼り直してからよく見える様にして読むと良い。 • 説明内容と文章の表現が違ったり、意味が明確に表現されていない時はリーダーが適切な表現に書き直して並べる。(書いた本人に書き直してもらうのもよい) • 修正は赤マジック(中)で行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 20px auto; width: 80%;"> <ul style="list-style-type: none"> • 書いてある内容の是非を論じない事。みんなが出された内容について共通の認識が得られるかどうかを論ずる。 • 事実に基づいた表現になっているか確認する。過去、現在に起っている事実を表現しているかどうかを認識する。書いた人が内容を説明する事がよい。 • この過程を経る事により出されたラベルの内容が全員の物となるので十分時間をかける事。 </div>
2 -	<p>似ているものを集め小グループを作る。(親近性を重視する)</p> <p>内容でグルーピングする事。</p> <p>使われている言葉や単語にとらわれない事。</p>	<p>全員で行う。 (分業化の原則)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 20px auto; width: 80%;"> <p>小グループは内容が近いものを集める。</p> <p>2 ~ 3枚以下が適切、5枚以上をまとめない事。</p> <p>似た内容が無く、1枚になった「一匹狼」のラベルは無視せず必ず残す。</p> </div>
2 -	<p>テーマから見て抜けている所はないか確認し、もしあれば追加する。</p>	<p>リーダーがテーマを読み上げた後、全員で抜けている所がないかを短時間で話し合う。</p>

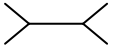
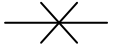
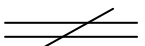
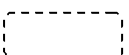



段階3 . 小グループ化と表札づくり
(ステップ3 (1)、(2))

グルーピングしたラベルの内容をピタリと表す表札を作り、次に中グループを作る。
その後、テーマの内容を考えながらストーリーが繋がるよう空間配置をする。

ステップ	内 容	ポ イ ン ト
3 - (1)	<p>それぞれの小グループにタイトル（表札 1 行見出し）をつける。小タイトルはラベルに赤マジックで書き、それぞれのグループの上に置く。 分業で行う事。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>小タイトルはグルーピングしたラベルが訴えようとする内容をピタリと表す具体的な文章で書く。 目次的、寸足らず、足し算、読み過ぎを避ける。</p> </div> <p>具体的な文章で。 共通のものを抜き出す。 ・・・物（事）の本質をつかみだす。 抽象のハシゴを 1 段高める。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>テーマ</p>  <p>小タイトルは赤マジックを用い、文章で書く。</p> </div> <p><u>例、ラベル</u></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">花子は太郎の家によく訪ねて行く。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">太郎と花子はよく喫茶店で会って話しをしている。</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;">花子が入院すると太郎は毎日見舞いに行った。</div> <p><u>例</u></p> <ul style="list-style-type: none"> × 目的 的：太郎と花子の関係 寸足らず：太郎と花子は中がいい × 足し算：2人は互いに家を訪ねたり、喫茶店で会って話をしたり、入院したら見舞いに行ったりしている。 × 読み過ぎ：太郎と花子は結婚する。 <p><u>良い例</u> 太郎と花子はいつも一緒にいたい仲である。</p>
3 - (2)	<p>テーマの内容を考えながら、近い内容のグループを近くに集め、中グループを作る。 中グループは5つくらいにする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>中グループ テーマ 中グループ</p>  <p>意味の近い小グループや一匹狼を集めて作る</p> <p>残ったグループ</p> </div>

-	<p>中グループのタイトルは、ラベルに青マジック（中）で書き、それぞれのグループの上に置く。 分業で行う事。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">中グループ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">中タイトルのラベル</div> </div> <div style="text-align: center; margin: 20px 0;">  </div> <p style="text-align: center;">中タイトルの作り方は小タイトルと同じ考え方で行う</p>
---	--	---

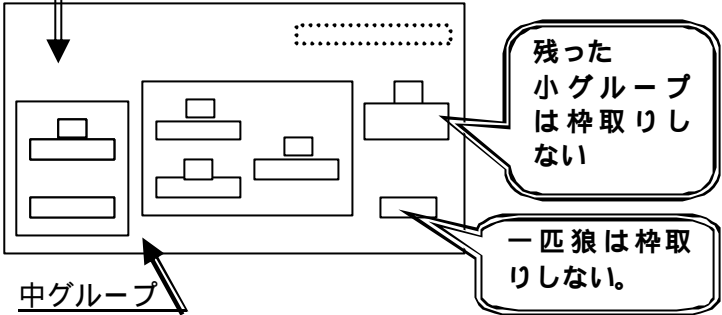
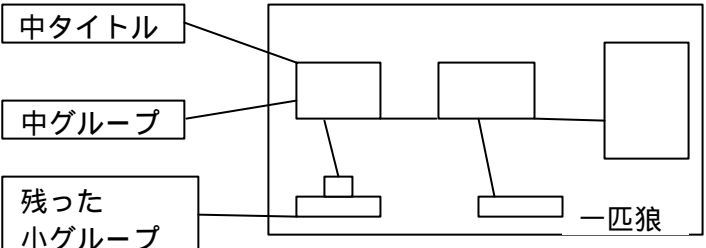
関連づける記号のいろいろ（段階4 . の参考）

—	関係あり
—	生起の順、因果関係、上部構造から下部構造へ、またはその逆 包括的なものから細部へ、またはその逆
—	相互に因果的となる
=	相互に因果的となる
	互いに反対
	関係が切れた
=	同じ
	同じでない
	必要なのに欠けている事柄
	（図解でなく、語句的に関係があるとき使う）
	ゆえに
	なぜならば

段階4 . 図解の完成 (ステップ4 - ~)

空間配置した中グループをテーマと対比し、中タイトルを明確にし、中グループの間に矢印などをマジックで書き、討議内容の図解を完成させる。

ステップ	内 容	ポ イ ント
4 -	<p>各、中グループがストーリーで繋がるように空間配置する。</p> <p>各、グループをいろいろ動かして一応、納得のいく配置をする。その配置を追手ストーリーとして順に読み上げてみる。何度か納得のいくまで並べ換える。</p> <div data-bbox="248 797 647 898" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 配置が決まったら 中グループを鉛筆で囲む </div>	<div data-bbox="687 416 1477 1025"> </div>
4 -	<p>中グループ(残った小グループや、一匹狼を含む)の間に鉛筆で矢印をつけて討議内容のストーリーをつくる。</p> <div data-bbox="280 1424 823 1473" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 鉛筆で矢印を入れてストーリーをつくる </div>	<div data-bbox="687 1066 1477 1473"> </div>
4 -	<p>ラベルをその場所に貼る。(ただし、中タイトルを書いたラベルは貼らずにその場所に置いておく。)</p>	<p>全員が作業机に集まり共同作業しよう！！</p>
4 -	<p>小グループを黒マジック(大)で囲む。タイトルのラベルの中央から線を出す事。(囲まない)</p>	<div data-bbox="687 1693 1477 2047"> </div>

<p>4 -</p>	<p>中グループを緑マジック（大）で囲む。 次にラベルに書いた中タイトルを中グループの上にマジックで書き込む。</p>	<p>ラベルに書いた中タイトルを中グループの上に青色マジック（大）で書き移す。</p>  <p>残った小グループは枠取りしない</p> <p>一匹狼は枠取りしない。</p> <p>中グループ</p> <p>中グループを囲む線は緑色マジック（大）で、中タイトルは青色マジック（大）で書く。</p>
<p>4 -</p>	<p>中グループ（残った小グループや一匹狼を含む）の間に赤マジック（大）で矢印を書く。</p>	<p>深い関係の所は太い線で、浅い関係の所は細い線で書く等工夫すると見やすくなる。</p>  <p>中タイトル</p> <p>中グループ</p> <p>残った小グループ</p> <p>一匹狼</p>

環境基本計画市民ワークショップ 第1回分科会 ふりかえりシート

今後、ワークショップをより良く進めていくために、みなさんのご意見をお聞かせください。

お名前： _____

1. 本日のワークショップはいかがでしたでしょうか？（いずれか1つに○）

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. たいへん有意義であった | 4. あまり有意義ではなかった |
| 2. 有意義であった | 5. 有意義ではなかった |
| 3. ふつうであった | |

2. ご自身が属されている分科会以外の分野において、特に挙げてもらいたい問題点があればお書きください。（簡潔に）

3. 本日のワークショップの感想、その他ご意見・ご質問などがあれば、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました

※このシートは、お帰りの際、受付でご提出いただくか、11月18日（木）必着で、事務局までお送りください。

【事務局】 奈良市 環境政策課

FAX：0742-36-5466

郵 送：〒630-8580 奈良市二条大路南1-1-1

分科会名簿

氏名	分科会
岡本 胤継	環境教育
梶野 博子	環境教育
島 浩二	環境教育
船本 知子	環境教育
南垣内 貞史	環境教育
黒飛 啓	環境教育

井上 雅由	自然・歴史
日月 英昭	自然・歴史
中川 徹	自然・歴史
横山 亜希子	自然・歴史
伊藤 隆司	自然・歴史
大花 章義	自然・歴史
岡野 恵子	自然・歴史

池田 敏泰	生活環境
井上 聆夫	生活環境
小松 弘子	生活環境
瀬林 傳	生活環境
橋本 光男	生活環境
矢藤 加寿子	生活環境
栗岡 理子	生活環境

上市 佳織	都市環境
北浦 由香	都市環境
河野 元昭	都市環境
三宅 明代	都市環境
向出 佳史	都市環境
石田 美智男	都市環境

北端 辰昭	地球温暖化対策
清水 順子	地球温暖化対策
田川 嘉隆	地球温暖化対策
鶴保 謙四郎	地球温暖化対策
植本 茂	地球温暖化対策
中村 真喜子	地球温暖化対策
村木 正義	地球温暖化対策